



全大教

全国大学高専教職員組合 発行所

Faculty and Staff Union of Japanese Universities

毎月1回10日発行 (1部30円) 組合員の購読料は組合費に含まれています

第314号 2015年8月10日

全大教のホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp>

◆全大教の紹介
◆大学・高等教育に関する情報など

○情報の提供やお問い合わせは全大教情報宣伝部まで
Eメール <josen@zendaikyo.or.jp>

〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目1番7号 MSKビル7階
TEL 03(3844) 1671/FAX 03(3844) 1672



全大教第48回定期大会 開会あいさつをする川崎敬一中央執行委員長

全大教第48回定期大会

64 単組、109 人が出席

7月11日(土)～12日(日) 於：南部労政会館(東京)

大学・高等教育を守る運動の輪を広げよう

今年度の全大教第48回定期大会を7月11日(土)から12日(日)の2日間、東京都内で開催しました。

大学・高等教育機関を産業競争力強化や軍事研究により強力に動員し、また大学自治の在り方にも介入する政府の動き、賃金臨時減額訴訟での第一審の不当判決や労働法制改悪など労働者の権利保障を不当に損なう動き、違憲の「平和安保法制」など平和と民主主義を危機に陥らせる動きが激しさを増す情勢に対し、教職員組合としての立ち向かい方を討議し、決意を固めあう大会となりました。また、中富公一新中央執行委員長(岡山大学教職員組合)はじめ19人の新役員が選出されました。

開会にあたり、中嶋哲彦中央執行委員長があいさつを行いました。全大教で全国闘争として取り組んでいる賃金臨時減額問題では、

財政措置を背景とした政府の圧力により各法人の自律的運営が阻害される中で教職員の生活への攻撃がなされ、それは最近の大学・高等教育政策にも通ずるものであり、地裁での不当判決に対して社会的批判を高めたが、高裁で覆っていく取り組みが重要であることを訴えました。

また、資源の重点配分の急進化を通じて大学・高等教育を短期的な経済界の要求に従属させようとする最近の政策は、教育・研究を通じて個の尊厳を育む大学・高等教育機関の使命に取り返し、つかないダメージを与えるおそれがあるもので、これに對抗する運動の輪を広げることが重要だと述べました。

来賓あいさつ(2面)で紹介のとおり、資格審査の修正案(山口大8件、

議事

1号議案(加盟・脱退の承認)では、統廃合などによる二組合(うち一単組は準加盟組合)の脱退と、公立高専で初めてとなる神戸市立高等学校教職員組合神戸高専分会の準加盟を承認しました。

続いて2、4号議案(納入人員の承認、単組への争訟支援の承認、決算報告及び会計監査報告の承認)の提案と質疑・討論を行いました。

5号議案(運動方針)の提案と質疑を行い、1日目の日程を終えて休会となりました。

2日目は、運動方針の修正案(山口大8件、

国立天文台1件が提出)を審議し、中央執行委員会が9件すべてについて受け入れまたは趣旨を一部反映した修正を表明し、修正案提出組合もこれを受け入れたため、運動方針案はこれらの修正案によって補強されたものになりました。この案に基づいてさらに討論の上、運動方針が満場一致で可決されました。運動方針の質疑・討論では、文部科学省に

よる人文社会科学部「縮小・見直し」通知問題などを社会的にアピールするシンポジウム(2面へつづく)

臨時増刊号 全大教時報

シンポジウム(6月21日) 9月10日頒布予定(冊子版+Web版)

「国立大学・高専の賃金制度・労使関係を問う」

～臨時賃下げ未払い賃金請求訴訟の不当判決を越えて～

全大教ホームページで電子版を全文公開する他、今回は各単組にも配布します。ご活用下さい。

安全保障関連法案に反対！！

公大連、日本私大教連と共同アピールを发表(7月28日)

安倍政権が今通常国会に上程した「平和安保法制」の名で括られる計11本の安全保障関連法案について、全大教は6月12日に反対声明を発表しました(新聞7月号に概要を掲載)。その後、国会会期の異例の大幅延長(9月27日まで)、衆議院での強行採決(7月15・16日)など、法案の内容の違憲性と危険性に批判が高まる中で政府・与党の強硬な動きが目立っています。

こうした動きに対し、国公私立の大学・高等教育機関で働く教職員の組合が連帯して反対の意思を表明する。この「共同アピール」は、意味で「戦争法案」と言わざるを得ない。多数の憲法学者による法案の違憲性の指摘を無視を強めていきます。

第27回教職員研究集会

9月11日(金) 11日(金) 12日(土) 13日(日)

開催校: 金沢大学 (角間キャンパス)

全体集会: 9月11日(金) 13:00～15:30

◆あいさつ
◆記念講演 講師: 小林 雅之 教授
東京大学 大学総合教育研究センター
◆基調報告(全大教中央執行委員会)
◆質疑・議論・交流

A分科会: 主にテーマ別(レポート提出期8/20)

9月11日(金) 16:00～17:30、12日(土) 9:30～11:30

A1 高等教育～大学・高等教育の転換点にあつて考え行動するために～
A2 大学における教育実践の課題
A3 教員養成系大学・学部問題
A4 教職員の賃金・労働条件を守り向上させるために～団体交渉の進め方
A5 男女共同参画～ワーク・ライフ・バランスを実現するために～

B分科会: 主に職業別(レポート提出期8/20)

9月12日(土) 14:30～16:30、13日(日) 9:30～11:00

B1 組合の拡大と強化～大きく、強く、楽しい組合をめざして～
B2 教員の待遇・労働条件と教育研究環境
B3 事務職員
B4 技術職員～昇格改善実現に向けて～
B5 図書館職員
B6 大学共同利用機関
B7 附属学校
B8 非常勤職員～どんな取り組みをしていますか? 成功例はもちろん失敗例も含めて教えてください～

C分科会: 自由セッション(応募期8/20)

9月12日(土) 12:00～14:00

開会集会: 9月13日(日) 11:15～11:30

今月の紙面

◆ 3面

◆ 単組からのレポート
北海道大学函館校「過半数組合を目指して」
大島商船高専「さらす相談ができる組合」
わたしもひこと

◆ 4面

◆ 高エ研「労使の合意を否定する不当判決」
◆ 不当判決に改めて抗議(中執声明)
◆ 平和憲法の改悪に反対する要請署名
～キックオフ集会・憲法労連連

◆ 第26回高専協議会総会

◆ 第48回定期大会記事つづき

◆ 退任のあいさつ 中嶋哲彦(前中央執行委員長)

◆ 新中央執行委員、会計監査委員の紹介